

第13号 2022. 8

人文社会科学論叢

人文科学篇 【翻訳注解】

フレデリック・ダグラス著
『私の隷属と私の自由』(一八五五年)
第十三章～第十四章 堀 智 弘 (1)

【資料紹介】

『大和国當麻寺縁起』校注稿 中 野 顕 正 (21)

【論 文】

弘前大学校地の近代考古学
旧第八師団司令部と旧制弘前高等学校 上 條 信 彦 1

複数の助動詞を伴う倒置文の派生 木 村 宣 美 29

長い18世紀イギリスにおける軍人・議会・選挙区(3・完)
中 村 武 司 51

【翻訳注解】

ガレノス『精液について』第一巻
—古典ギリシア語原典からの翻訳と注解— 今 井 正 浩 77

社会科学篇 【論 文】

Well-Being をどう分析すれば地域政策に資するのか
花 田 真 一
平 井 太 郎 145

医療マーケティング研究の論点整理とそれらの考察
保 田 宗 良 161

BSC と他のMAS との同時運用における
コントロールのメカニズムの解明 商 哲 171

安定成長期における中小小売業の事業転換 林 彦 櫻 185

ファッションライセンス契約におけるエージェント費用
飯 島 裕 胤
家 田 崇 205

The effect of COVID-19 on international trade:
global empirical evidence using a gravity approach
桑波田 浩 之 221

マネタリーベースの増大が
地方の実体経済に与える効果II：西日本編 山 本 康 裕 229

準市場としての医療保険制度(1) 児 山 正 史 261

【報 告】

マーケティング調査の理論と実務の接続による教育面及び
実践面の効果に関する調査報告
花 田 真 一
木 山 久 村 口 恒 順 祐 子 整 287

研究活動報告 299

弘前大学人文社会科学部紀要『人文社会科学論叢』の刊行及び編集要項

平成28年6月22日教授会承認

この要項は、弘前大学人文社会科学部紀要『人文社会科学論叢』（以下「紀要」という。）の刊行及び編集に関して定めるものである。

- 1 紀要は、弘前大学人文社会科学部（以下「本学部」という。）で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
- 2 発行は原則として、各年度の8月及び2月の年2回とする。
- 3 原稿の著者には、原則として、本学部の専任担当教員が含まれていなければならない。
- 4 論文として提出された原稿は、投稿者の希望によりレフェリーによる査読を付することができる。
- 5 掲載順序など編集に関することは、すべて研究推進・評価委員会が決定する。
- 6 紀要本体の表紙、裏表紙、目次、奥付、別刷りの表紙、研究活動報告については、様式を研究推進・評価委員会が決定する。また、これらの内容を研究推進・評価委員会が変更することがある。
- 7 投稿者は、研究推進・評価委員会が告知する「原稿募集のお知らせ」に記された執筆要領に従って原稿を作成し、投稿しなければならない。「原稿募集のお知らせ」の細目は研究推進・評価委員会が決定する。
- 8 論文等の校正は著者が行い、3校までとし、誤字及び脱字の修正に留める。
- 9 別刷りを希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出なければならない。なお、経費は著者の負担とする。
- 10 紀要に掲載された論文等の著作権はその著者に帰属する。ただし、研究推進・評価委員会は、掲載された論文等を電子データ化し、本学部ホームページ等で公開することができるものとする。
- 11 紀要本体及び別刷りに関して、この要項に定められていない事項については、著者が原稿を投稿する前に研究推進・評価委員会に申し出て、協議すること。

附 記

この要項は、平成28年6月22日から実施する。

執筆者紹介

- 堀 智 弘 (コミュニケーション講座／アメリカ文学)
中 野 顕 正 (コミュニケーション講座／日本古典文学)
上 條 信 彦 (文化財論講座／日本考古学)
木 村 宣 美 (コミュニケーション講座／英語学)
中 村 武 司 (国際社会講座／西洋史)
今 井 正 浩 (思想文芸講座／西洋古典学・西洋古代医学史)
花 田 真 一 (情報行動講座／統計学)
平 井 太 郎 (公共政策講座／社会学)
保 田 宗 良 (ビジネスマネジメント講座／マーケティング)
商 哲 (ビジネスマネジメント講座／管理会計学)
林 彦 櫻 (ビジネスマネジメント講座／経営史)
飯 島 裕 胤 (経済システム講座／金融論)
家 田 崇 (南山大学法学部／教授)
桑波田 浩 之 (経済システム講座／国際経済学)
山 本 康 裕 (経済システム講座／マクロ経済学)
児 山 正 史 (公共政策講座／行政学)
木 村 順 一 (株式会社オノフ)
山 口 祐 子 (株式会社オノフ)
久 恒 整 (アダプティブ株式会社)

編集委員 (五十音順)

- ◎委員長
小野寺 進
上 條 信 彦
児 山 正 史
◎杉 山 祐 子
増 山 篤

人文社会科学論叢
第13号

2022年8月31日

編 集 研究推進・評価委員会
発 行 弘前大学人文社会科学部
036-8560 弘前市文京町一番地
<https://human.hirosaki-u.ac.jp/>
印 刷 やまと印刷株式会社
036-8061 弘前市神田四-四-五

Studies in the Humanities and Social Sciences

<p>[Translation and Commentary] A Japanese Translation of Frederick Douglass, <i>My Bondage and My Freedom</i> (1855), Chapters XIII and XIV</p>	HORI Tomohiro	(1)
<p>[Material] <i>Yamato-no-kuni Taima-dera Engi</i>: revision and annotation</p>	NAKANO Akimasa	(21)
<p>[Article] The Modern Archaeology at Hirosaki University: Former Eighth Division Headquarters and Hirosaki Old-Education-System High School</p>	KAMIJO Nobuhiko	1
<p>The Derivation of the Inverted Sentences with Multiple Auxiliaries</p>	KIMURA Norimi	29
<p>Naval and military MPs, parliament and the constituencies in long eighteenth-century Britain, part III</p>	NAKAMURA Takeshi	51
<p>[Translation and Commentary] Galen <i>On Semen Book I</i>, Translated from the Greek Text into Japanese with Medico-Philosophical Commentary</p>	IMAI Masahiro	77
<p>[Article] “Well-Being” for policy-making process of local governments</p>	HANADA Shin-ichi HIRAI Taro	145
<p>Organize of Discussion Points on Study of Medical Care Marketing and Consideration of Discussion Points on Study of Medical Care Marketing</p>	YASUDA Muneyoshi	161
<p>Explore the Mechanism of Controls in the Simultaneous Use of BSC and other MAS</p>	SHANG Zhe	171
<p>The Business Transformation of Small and Medium Retailers in Stable Growth Period in Japan</p>	LIN Yanying	185
<p>Fashion Licensing Contract under Agency Problems</p>	IJIMA Hirotsugu IEDA Takashi	205
<p>The effect of COVID-19 on international trade: global empirical evidence using a gravity approach</p>	KUWAHATA Hiroyuki	221
<p>Effects of an Increase in the Monetary Base on the Real Economy in Local Areas II: West Japan</p>	YAMAMOTO Yasuhiro	229
<p>Medical insurance system as quasi-market</p>	KOYAMA Tadashi	261
<p>[Report] Can data science education be improved by integration academia and practice?: A study report</p>	HANADA Shin-ichi KIMURA Jyunichi YAMAGUCHI Yuko HISATSUNE Sei	287
<p>Research activities report</p>		299